プレゼンティーイズムと健康リスクの関連

「生活習慣リスク」「心理的リスク」に関する9つの項目で、従業員の健康リスクを把握しました。
該当する健康リスクの数（図表１）に応じて、従業員を３グループに分類し（図表２）、各グループの労働生産性の低下率を算出しました。（図表３）
企業の生産性の向上のためには、高リスク者を減らすことが重要であると分かります。

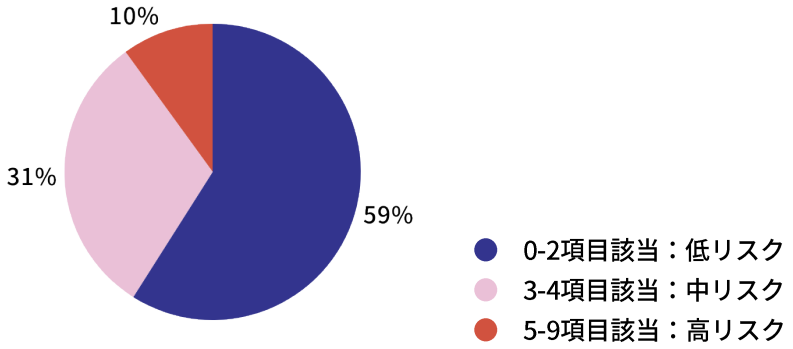
（図表１）

	健康リスクの評価項目	従業員のリスク該当率の割合
生活習慣リスク	①喫煙習慣あり	26%
	②過度な飲酒習慣あり	19%
	③運動習慣なし	74%
	④睡眠が不充分	45%
心理的リスク	⑤不定愁訴あり	24%
	⑥主観的健康感が悪い	16%
	⑦高ストレス	24%
	⑧仕事満足度が低い	12%
	⑨生活満足度が低い	16%

＊「⑨生活満足度が低い」は、アンケートが2026年3月以前に実施された場合、
「家庭満足度が低い」の割合を記載しています。
「⑨生活満足度が低い」は、「家庭満足度が低い」と比較して割合が大きくなる傾向
（悪くなる傾向）があります。

*上記は、東京大学 古井・村松・井出「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」
日本労働研究雑誌 平成30年6月号と同じ手法により算出しています。

（図表２）



※低リスクの従業員が50%以上であることが望ましいとされます。

各リスクレベルのプレゼンティーイズムの
平均値を比較します。

（図表３）

